



看護部通信

2013.4.1発行 第38号

#HOSPYホスピーグループ腎透析事業部

ホスピーグループ腎透析看護部のめざす方向性

【ホスピーグループ腎透析事業部 統括看護部長 岡山ミサ子】

ホスピーグループ腎透析事業部は2013年4月よりスタートします。看護部は「看護部の理念・基本方針」「看護部の中・長期ビジョン」を新たに策定しました。腎臓病・透析患者さんやその家族の方に質の高い看護が提供できるよう、看護師の育成に力を入れていきます。看護部全体で透析療法指導看護師が42名、糖尿病療養指導士が5名います。どちらも分野認定ではありませんが、看護実践能力の高い看護師多くいるため、患者さんや家族の方への看護・支援はもちろんの事、看護師の育成にも貢献できます。それぞれの強みや良い点を一部署、一施設だけでなく、腎透析看護部として、共に学び、経験知を分かち合い、成長・成熟できる看護部をめざしていきます。

看護部の理念・基本方針

<理念>

看護部では、「看護は人間である」を基本理念とし、その人間らしく生きられるよう援します。

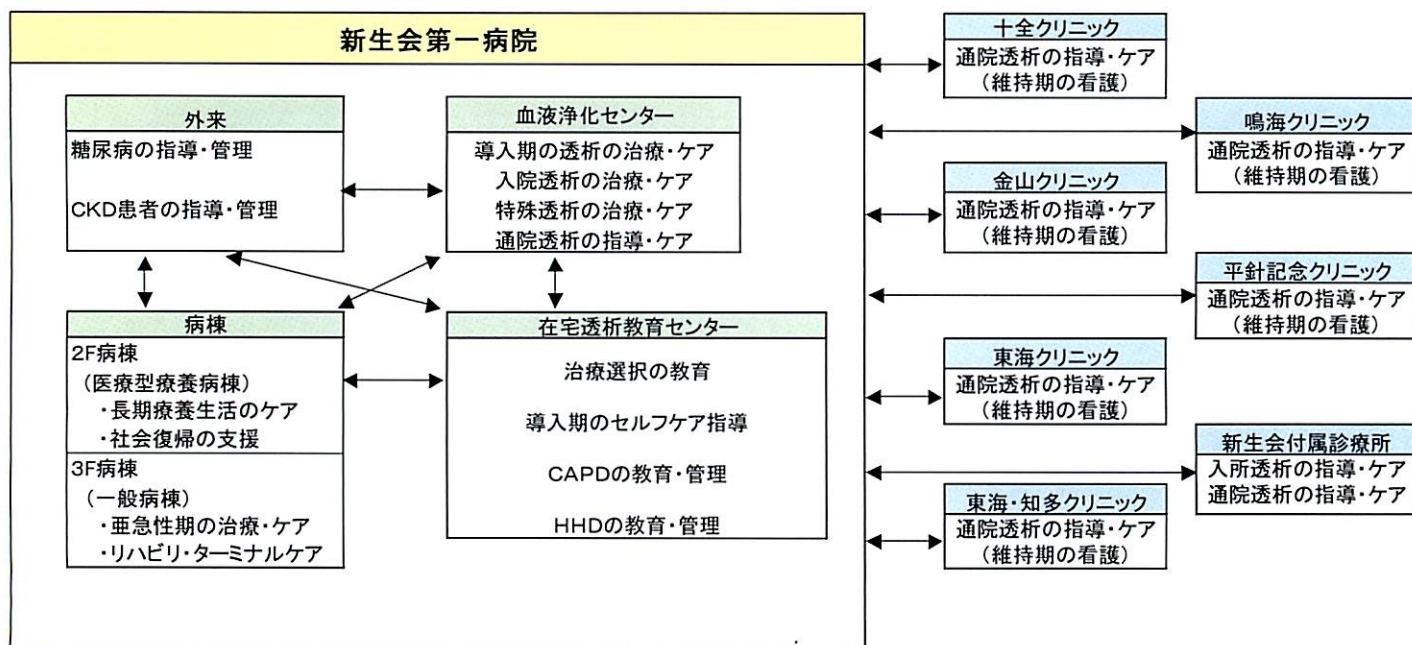
<基本方針>

1. 私たちは、患者に寄り添い思いやりのある看護をします。
2. 私たちは、患者の個性性を尊重してもてる力を引き出します。
3. 私たちは、共に学びあい看護の質を向上します。
4. 私たちは、自律しチームの中で看護の専門性を発揮します。

看護部の中・長期ビジョン

- ・腎臓病・糖尿病とその周辺治療を受ける患者・家族に対し、多職種と連携しながら、安全・安心・信頼される質の高い看護を提供します。
- ・社会状況の変化に柔軟に対応し、「個とチーム」「歴史と専門性」を最大限に活かし、共に成長できる看護部をめざします。

ホスピーグループ腎透析看護部(CKD・透析患者の看護・支援システム)



新生会第一病院の看護部の目指す方向性

【新生会第一病院 看護部長 宮下美子】

新年度から新生会第一病院看護部長になりました。これからも、腎臓病・糖尿病・透析療法とその周辺治療・ケアに特化し「個とチームのもてる力」「歴史と専門性」を最大限に活かし看護を必要としている人に安全で安心・信頼される看護部をめざします。

また糖尿病透析予防診療チームや慢性腎臓病（CKD）・糖尿病（DM）サポートチームなど、院内の様々な専門職種と連携・協同しながら地域に必要とされる医療の実践をめざします。

看護部がより良い発展するために、皆で知恵を出し合いながら能動的に闊達に活動していきましょう。慣れないことばかりですがよろしくお願いします。



看護安全シリーズⅩⅢ

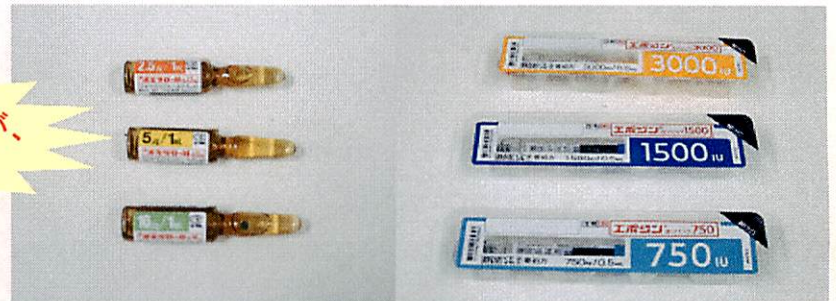


新人ナースに知ってほしい！ 【新生会第一病院 師長代理 今福節子】

間違いやすい薬剤！！

与薬に関する医療事故は、発生頻度が高く、場合によっては患者への影響が大きいものです。指示する医師・調剤する薬剤師・与薬する看護師と多職種が関与します。多職種が関与することで事故防止できる事もあれば、スイスチーズモデルのようにすり抜けて事故が発生することもあります。間違いやすい薬剤を知っておくことは、医療事故防止にとって重要となります。間違いやすい薬剤名、類似した外装、同じ薬剤名でも規格が異なるものがあります。また、安全な治療を提供するために指差呼称実践・6Sの実践をしましょう。指差呼称でエラーは1/6に減少します。（指差呼称しない場合に比較して）事故防止の効果的な方法の一つです。

同じ薬品名・同じ容器だが、
単位が異なる



オキサロール

エポジン

類似した薬品名



セファメジン

セフメタゾン

外装が類似している



グリセオール

アミパレン

ブドウ糖



同じ薬品名・同じ容器・同じ
量だが濃度が異なる

6 R : 誤薬防止の確認
正しい患者 : Right Patient
正しい薬剤名 : Right Drug
正しい量 : Right Dose
正しい投与経路 : Right Route
正しい時間 : Right Time
正しい目的 : Right Purpose

新生会第一病院 十全クリニック の新人ナース

Aさん
新人研修で学んだ静脈注射・採血・点滴投与は日々の業務に役立っています。実際に現場で実践する際も、先輩方が見てくれ、失敗した際もアドバイスを頂き、心強かったです。今ではスムーズに行なえるようになってきました。

Bさん
透析を確実・安全に実施して行くことをただ業務として行なうのではなく、患者さん一人ひとりに関心を持ち、その方の生活背景も考えて向き合って看護することの大切さ。

Cさん
看護技術で上手く出来なかった時に相談すると、その患者さんに合わせた方法（手のポイントやコツ）をアドバイスしてもらい失敗を減らすことが出来た。

Dさん
1年間、様々な知識・技術を教えて頂きましたが、私はその中でも『報・連・相』が大事だと思いました。報告や相談をすることが安全安楽な看護の実践に繋がると思っています。



新人ナース・1年を振り返って

Aさん
患者指導の際には、まずは患者さんが出来ている事の話から聞くことで、より多くの情報を引き出すことができ、患者さんとの信頼関係も深められる事を学びました。

Bさん
身体的なアセスメント方法や全体像の捉え方を指導していただき、様々な視点から患者さんを観察する事が出来る様になり、又コミュニケーション方法を指導していただき、患者さんより良い関係を築く事が出来ました。

サテライト の新人ナース



Cさん
透析患者との関わりに不安を持っていたが、先輩方の患者との関わり方を見たり、勉強会などで学習を進めることで、患者との関係作りができるようになったこと。

Dさん
患者と話せず関わり方に悩んだ。「もっと患者の所へ行きなさい。」と言われ続け1年、患者の思いなど、関わって得られる情報こそ重要である、皆透析という同じ治療だが、透析看護に同じはないと気付くことができた。

新人育成のためのスタッフ学習会

【担当 新生会第一病院・十全クリニック：澤村・牧野・片村】

新生会第一病院看護部では2006年度から「新人育成のためのスタッフ学習会」を新人が入職する前に開催しています。この学習会は、新人看護師が職場にうまく適応し、育成できるスタッフを育てることを目的に全スタッフを対象とし（入職1年未満を除く）行っています。昨年度から、対象を実地指導者とスタッフに分けて開催しています。今年度の学習会は、毎年学んでいる、ウェルナーの成人教育の12原則を復習した上で、活発にグループワークをしました。

スタッフ学習会

ロールプレイ



「どのように指導を行い、指導担当者に報告するか」

スタッフの声

「質問されることで自分の知識・看護を振り返る機会になる」「初心に戻り共に学べる」「スタッフの一員として環境作りが大切」

実地指導者学習会

グループディスカッション後の発表



皆で困った経験を共有し、新人への対応策を考える

実地指導者の声

「新人と共に学ぶことが大切」「自分を振り返ることができた」「新しい知識を得られる」「相手の気持ちを考えられた」

だいじょうぶ だいじょうぶ



絵本で新人ナースの気持ちを理解する

参加者の声

新人の不安ながらの気持ちを受け止め、それでも体験させていく時のサポートの仕方を絵本から学びました。

職員みなで、新人の方を温かく迎えらるるよう学んでいます。